

教科	地理・歴史	科目	地理総合	学年	第 1 学年	系列 コース	共通
単位数	2 単位	教科書	高等学校 新地理総合(46帝国 地総-703) 新詳高等地図(46帝国 地図-702)				
副教材	新詳地理資料COMPLETE2022(帝国書院) 地理総合ワークブック(愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会)						

1. 学習の到達目標

<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。</p>
<p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>
<p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについて理解を深める。</p>

2. 評価の観点

①知識・技能	<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>
②思考・判断・表現	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>
③主体的に学習に取り組む態度	<p>地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

3.学習の計画

学期	月	週No.	学習項目(単元)	学習内容
1 学期	4月	1	第1部 地図でとらえる現代世界	日常生活の中でみられる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性等について理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。
		2	第1章 地図と地理情報システム	
		3	1節 地球上の位置と時差	
		4	1 地球上の位置と私たちの生活	
	5月	5	2 時差と私たちの生活	
		6	2節 地球上の位置と時差	
		7	1 地球儀と地図	
		8	2 身の回りの地図	
	6月	9	3 地形図の利用-地図記号-	
		10	4 地形図の利用-縮尺と等高線	
		11	5 統計地図の種類と利用	
		12	第2章 結び付きを深める現代世界	
	7月	13	1節 現代世界の国家と領域	
		14	1 現代世界の国家	
		15	2 日本の位置や領域	
		16	2節 グローバル化する世界	
2 学期	8月	17	第2部 国際理解と国際協力	
		18	第1章 生活文化の多様性と国際理解	
	9月	19	1節 世界の地形と人々の生活	
		20	2節 世界の気候と人々の生活	
		21	3節 世界の言語・宗教と人々の生活	
		22	4節 歴史的背景と人々の生活	
	10月	23	5節 世界の産業と人々の生活	
		24	第2章 地球的課題と国際協力	
		25	1節 複雑に絡み合う地球的課題	
		26	2節 地球環境問題	
	11月	27	3節 資源・エネルギー問題	
		28	4節 人口問題	
		29	5節 食料問題	
		30	6節 都市・居住問題	
12月	31			
	32			
	33			
	34			
3 学期	1月	35	第3部 持続可能な地域づくりと私たち	
		36	第1章 自然環境と防災	
		37	1節 日本の自然環境	
	2月	38	2節 地震・津波と防災	
		39	3節 火山災害と防災	
		40	4節 気象災害と防災	
		41	5節 自然災害への備え	
	3月	42	第2章 生活圏の調査と地域の展望	
		43		
		44		
		45		

4. 評価の方法

総合的に定期考査の得点に加えて、課題学習、授業態度、小テスト等日々の学習活動について、各評価の観点（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）ごとに評価する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。